

「楷書」「行書」「草書」のちがいについて

昔から文字は、日々の出来事や自分の気持ちを記録したり、伝えたりするために使われてきました。ふだん、みなさんが使ったり、目にしたりしている文字の形を「楷書」といいます。この楷書は、文字の歴史の中でも一番新しいもの、とされています。

文字の形は、5種類あります。「篆書」「隸書」「草書」「行書」「楷書」です。一番古いものが「篆書」です。そして、「篆書」をよりかんたんにして次に生まれたのが「隸書」です。そして、さらに「隸書」をかんたんにして生まれたのが「草書」と「行書」です。そこから、一文字一文字を区切ってはっきり読めるようにしたものが「楷書」となります。

これらの文字の形には、はっきりとしたちがいがあります。下の図をみてください。楷書は一文字が区切られていて、続けて書くことはありません。行書は、続けて書くことができ、楷書よりも早く書けるようになっています。さらに草書は、文字をくずしたり、省略したりして書きます。早く書くことをねらいとしています。行書や草書は年賀状などで見かけたりすることがあるかもしれませんね。

